

総務省「家計調査」からみる近年の消費動向 — 私たちは貧しくなったのか? —

「家計調査」は、消費動向を知る上で重要なものです。また、消費に占める食料支出の割合であるエンゲル係数はこの調査から算出されます。本講座では、「家計調査」の歴史、消費の地域特性をお話しするとともに、最近のエンゲル係数上昇で、家計は貧しくなったのかと注目されますが、その原因についても考えていきます。

6月18日(木)

10:00~11:30

講師

大石 邦弘

名古屋学院大学経済学部教授。

専門は産業組織論。担当科目は産業組織論、現代日本経済史など。

現在は戦後復興期の経済計画のありようについて研究しています。

講義の対象

興味のある方ならどなたでも。

定員

20名

受講料

1,000円